

第 1 回家庭教育学級

「子どもの立場から行動を考える～その子に合わせた関わりを～」 報告書

7 月 9 日 土曜日、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」相談係・指導主任 先生をお迎えし、表題の平成 28 年度第 1 回家庭教育学級を開催いたしました。あいにくの雨天にもかかわらず、52 人の保護者の方にご出席頂きました。土曜日ということもありお父様方にもご参加頂き、ご家庭でお子さんとの関わり方について考える良い機会が持てたことと思います。終了後のアンケートにはびっしりと感想が書き込まれているものばかりでした。皆様の心に響く有意義な講座の開催ができたこと、講師の先生をはじめ、ご協力いただいた皆様、ご参加頂いた保護者の方々に深く御礼申し上げます。



講座概要

- ★保護者が気になる困った子供の行動の背景にある子供側の事情に着目し、大人のものさしと子供のものさしの違いに気づき折り合いをつける。
- ★子供が理解しやすく、行動しやすい環境調整をする。ハード面では視覚情報の調整や、時間の見通しを立てる工夫、ソフト面では相手にわかる伝え方、肯定的な声かけ、子供の気持ちの代弁など。
- ★同年齢でも子供によって成長の歩幅が異なる。その子にとってちょうど良い課題を与えることが大事。生活の中でワクワク楽しみながら自分の力で課題を遂行する体験を通じて、やる気スイッチが入る。



- ★その子に特有の個性により苦手分野や感覚の特徴がある場合もある。その個性と発達段階にあわせ大事なことの優先順位を決め関わっていく。
- ★目に見える行動をなくす、改善することがねらいではない。安心して見守られる中で人に対する信頼感を作り、自信を持って自分らしく表現していける力を支えていくこと。行動の背景に視点を向け、本人の発達や特性を理解し、その思いや自発性に沿った支援を行っていく。

声かけ変換表(抜粋)

- ★うるさい!⇒声を「これくらい」にしてくれる?(事例)
- ★早く支度しなさいッ!⇒5分で終わればあと10分遊べるよ(メリットを伝える)
- ★もう、何やってんの!?⇒今、何するときだと思おう?(周りを見せる)
- ★〇年生ならみんなできてるよ⇒去年よりできるようになったね!(基準は本人)

★アンケートより★

- ★声かけについて、ほとんど NG 側の言葉を言っていたことに気付いた。
- ★とても丁寧に教えて頂きありがとうございました。子どもの行動には理由があるということを教えて頂きました。相手の立場に立って考えを共有していくことが大切だと感じました。
- ★お話の中で「ワクワクして待つ経験が我慢する力につながる」ということが心に残りました。子供自身の挑戦する気持ちを大切にしつつ、その個に合ったサポート(声掛け)をして「ひとりでやってみる⇒できた」の成功体験をつんでいけるようにすることも大切だと思いました。